

# 肥前浜宿 まちなみ案内図

祐徳神社 ↓

## はまなかまちはちほんぎしゅく 【浜中町八本木宿伝統的建造物群保存地区】《通称：酒蔵通り》

【オレンジ色の範囲】

往還裏に土蔵造の大型酒蔵群が多く残っています。往還沿いに白壁2階建ての瓦葺居蔵造町家が建ち並びます。茅葺町家や昭和初期の真壁造町家もあります。

浜町の町並みは多良往還筋と浜川に沿って広がっており、その骨格は、往還筋を主軸とする街路、河川、そこから引き込まれた水路を構成要素として成立しています。

町並みの主軸をなす街路は、鹿島から多良へ向かう長崎街道脇往還で、浜新町・大村方・八宿・中町を通って、浜橋を渡り、鍵の手に折れて、南舟津・庄金に至ります。これらの町では住宅の奥行きが深く、両側町を形成しています。河港に面した北舟津・南舟津は、河岸に片側町、裏手に両側町が広がっていて、ほかの町に比べて宅地の奥行きが浅くなっています。

浜川と町並みの関係は浜橋の上流と下流で大きく違います。上流では左岸の中町・八宿、右岸の野島ともに、往還筋に沿って広がり、川岸に背を向けながら水路が引き込まれているのに対し、下流では右岸の南舟津・庄金、左岸の北舟津とともに、町並みは河岸の通りに沿って広がっていて、河岸に向かって開かれています。河港として機能した下流に対し、生活用水や産業用水を得るために使われた上流という河川の利用形態が、こうした町並み構成の違いをもたらしたと考えられます。

このような街路と水路が、伝統的町家建築とともに、魅力的な町並み空間をつくりあげています。



## はましろうづまちはまかなやまち 【浜庄津町浜金屋町伝統的建造物群保存地区】

【ピンク色の範囲】

佐賀鍋島藩の外港として機能したといわれています。茅葺町家が卓越する全国でも貴重な町並みです。

長崎 →